

全 員 協 議 会 会 議 録

(平成23年6月7日)

1. 各一部事務組合の現況と経過報告

む つ 市 議 会

むつ市議会全員協議会会議録

○開会の日時 平成23年 6月 7日(火) 午前11時40分開会
午前11時57分閉会

○場 所 むつ市議場

○出席議員 (26人)

1番	鎌田 ちよ子	2番	上路 徳昭
3番	新谷 泰造	4番	工藤 孝夫
5番	横垣 成年	6番	澤藤 一雄
7番	石田 勝弘	8番	新谷 功
9番	目時 睦男	10番	野呂 泰喜
11番	馬場 重利	12番	岡崎 健吾
13番	山本 留義	14番	千賀 武由
16番	大瀧 次男	17番	富岡 修
18番	佐々木 隆徳	19番	半田 義秋
21番	高田 正俊	22番	山崎 隆一
23番	浅利 竹二郎	24番	村川 壽司
25番	中村 正志	26番	菊池 広志
27番	斉藤 孝昭	28番	富岡 幸夫

○欠席議員 (2人)

15番	白井 二郎	20番	川端 一義
-----	-------	-----	-------

○説明のため出席した者

市	長	宮下 順一郎
副 市	長	野戸谷 秀樹
教 育	長	遠島 進
公 営 企 業 管 理 者		遠藤 雪夫
総 務 政 策 部 長		伊藤 道郎
財 務 部 長		下山 益雄
民 生 部 長		奥川 清次郎
保 健 福 祉 部 長		松尾 秀一
経 済 部 長		中嶋 達朗

建設部長	山本伸一
川内庁舎所長	布施恒夫
大畑庁舎所長	若松通
脇野沢庁舎所長	高坂浩二
会計管理者	大橋誠
総務政策部理事出納室長	
農業委員会事務局長	手間本富士雄
公営企業局長下水道部長	齊藤鐘司
総務政策部政策推進監	花山俊春
財務部政策推進監	石野了
民生部政策推進監	竹山清信
総務政策部総務課長	柳谷孝志
総務政策部総務課総括主幹	野藤賀範
財務部管財課財政課長	氏家剛
教育委員会事務局総務課長	松宮康則
総務政策部総務課主任	栗橋恒平

○事務局出席者

事務局長	須藤徹哉	次長	澤谷松夫
総括主幹	濱田賢一	主任主査	小林睦子
主任主査	石田隆司	主任	村口一也

(午前 11時40分 開会)

○議長（富岡幸夫） ただいまから全員協議会を開会いたします。

本日の全員協議会は、各一部事務組合の現況と経過報告を受けることとしております。

それでは、市長から報告を求めます。市長。

(宮下順一郎市長登壇)

○市長（宮下順一郎） 各一部事務組合の現況と経過について、その概要をご報告申し上げ、協議の参考に供したいと存じます。

最初に、一部事務組合下北医療センターについてであります。本年3月23日開会の組合議会第116回定例会に提案され、可決及び承認されました3議案1報告についてご説明いたします。

まず、議案第1号 一部事務組合下北医療センター職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についてであります。これは、地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、非常勤職員の育児休業取得可能期間を定める等の改正を行ったものであります。

次に、議案第2号 平成22年度一部事務組合下北医療センター補正予算についてであります。これは、事業費の確定、決算見込み等によるものであります。

次に、議案第3号 平成23年度一部事務組合下北医療センター予算についてご説明いたします。

まず、業務の予定量についてであります。病床数は702床、患者数は、入院患者を年間延べ16万918人、外来患者を年間延べ36万8,032人と見込んでおります。

次に、収益的収入及び支出についてであります。収入では本部収益及び病院事業収益で122億7,213万4,000円、支出では組合事務費である総係費及び病院事業費用で115億4,249万9,000円を予定し、差し引き7億2,963万5,000円の純利益となる収支計画となっております。

次に、資本的収入及び支出についてであります。収入では18億2,526万5,000円、支出では22億794万5,000円を予定しております。

次に、報告第1号についてであります。これは、平成22年度一部事務組合下北医療センター補正予算でありまして、むつ総合病院で発生した医療事故に係る損害賠償金の支払いに要する経費並びにむつ総合病院の平成2年度外来診療棟整備事業債に係る公的資金補償金免除繰上償還及び借換債に要する経費を増額することについて専決処分し、報告したものであります。

なお、施設ごとの病床数等につきましては、お手元に資料を配布しており

ますので、省略させていただきます。

また、2月1日後の医師の異動につきましても、お手元に資料を配布しておりますので、ご了承いただきたいと存じます。

次に、下北地域広域行政事務組合についてであります。本年3月25日開会の組合議会第94回定例会に提案され、可決されました2議案についてご説明いたします。

まず、議案第1号 平成22年度下北地域広域行政事務組合一般会計補正予算についてであります。これは、決算見込みによるものであります。

次に、議案第2号 平成23年度下北地域広域行政事務組合一般会計予算についてであります。予算総額は、歳入歳出とも59億5,663万3,000円となっております。

以上、各一部事務組合の現況と経過の概要をご報告申し上げた次第であります。

○議長（富岡幸夫） ただいまの市長の報告及び各一部事務組合の現況について質疑ありませんか。5番横垣成年議員。

○5番（横垣成年） 下北地域広域行政事務組合についてお聞きしたいと思います。

アックス・グリーンについてであります。3月11日発生した地震で、一応3月定例会ではアックス・グリーンが稼働しなかったということで、一般のごみがピットにたまり続けたというふうな報告までは受けているのですが、最終的にはどういうふうな形で、いつからいつまでとまって、稼働してからそういうピットにたまったごみはどういう形で処理されて通常の状態に戻ったのかというのをちょっとお聞きしたいなというふうに思います。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） アックス・グリーンの3.11後の炉の停止、これは先般の定例会でご報告をいたしましたとおりでございます。さまざまな部分で液体窒素、そういうふうな部分がLPGですか、そういうふうなものが物流が滞ってとめざるを得ないというふうなことでございまして、その部分では市民の皆様方に大変ご迷惑をおかけしたものと、収集もままならないというふうなことで、アックス・グリーンで受け入れを停止したのが3月11日から4月2日までの間、通常どおりのごみの受け入れは継続することができませんでした。

それで、一般廃棄物等の委託収集、この部分については3月21日から3月26日までの6日間、これは収集運搬を中止いたしました。3月28日には収集運搬を再開いたしましたところではありますが、この部分では受け入れがアックス

・グリーンのほうでは、そのお話をしましたように、炉が運転ができなかったものですので、6日間奥内地域にあります一般廃棄物最終処分場に埋立処分を実施いたしました。埋立処分量は、6日間で約660トンということになります。

○議長（富岡幸夫） 5番。

○5番（横垣成年） この660トンを奥内の最終処分場に埋立処分したという報告であります。たしか前、こういうふうに炉の改修だとか何とかで一般ごみがたまっていた事例を過去にいろいろ聞いているのですが、いろんなパターンがあったかと思うのです。大畑のほうにも出たとかという話もあったし、中には一たん最終処分場のほうに仮置きして、炉が稼働してから、また持ち込んで燃やしたというふうな話も聞いておまして、今回はそれでは660トンをまた持ってきて燃やすのではなくて、もうその最終処分場に全部埋め立ててしまったという形の報告だったと思うのですが、こういうふうにいろいろやり方に違いがあるのがちょっと不思議だなと。これは、県の指導でもってそういう形に最終的にしたのかどうかというのを確認したいのと、やはり行政として一貫性がないといけないと思うのです。こういう場合にはどうするかという、そういうマニュアルがないので、こういう場合は仮置きして、また稼働したら燃やすと、こういう形になっているのかなというふうに思いますので、そここのところの基本的なマニュアルというのにはできているのかどうかということ、県の指導を受けてやったのかということと、そういう基本的なマニュアルというのがあるのかどうかというのを再度ちょっとお聞きしたいなというふうに思います。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） 県の指導とか何とかではなくて、構成市町村の中での協議の結果でございます。そしてまた、今回の件は非常事態でございます。炉が動かないというふうなこと、これはアクセス・グリーン・サービスの会社、運営をしております会社の瑕疵とかなんとかではございません、事業の、営業の。これは本当に災害という非常事態の中での処理でございますので、その分でご理解をいただけるものと、このように思います。

○議長（富岡幸夫） 5番。

○5番（横垣成年） 非常事態ですので、通常であれば一般ごみはきちんと焼却処分すると。産業廃棄物はまた別の形のものをきちんと産業廃棄物として捨てるというふうな流れがあるのですが、緊急の場合はそれを崩しても構わないというふうな形のものが許されるというふうに受けとめられるのですが、ただそういう形で今後ともいくのかどうかというのとはまた別だと思うの

です。確かにアックス・グリーンの方は瑕疵は何もないというのであるけれども、やはり一般ごみはきちんと一般ごみとして燃やす、産廃は産廃として処理するというふうな、これはやっぱり行政の基準なのです。それを何かの場合自治体、構成市町村ですか、その協議の中で変えてもいいというふうな形になるのは、やっぱり極力避けるべきだと思うのですが、そこのところ、今後の市長の対応の基本的な方針、考え方というのもちよつと確認させていただきたいと思います。

だから、今回の場合は、もうあくまでも今回だけだと。これは、次の場合はきちんとそういうふうな、一般ごみを焼却するような予備の体制がないから結局こうなると思うのですよね。今のアックス・グリーンは助燃剤、LPGがないともう動かないと、そういう欠陥を持っていた炉であるから、こういう事態が発生したというふうに考えれば、そのLPGに頼らないでも燃やせるようなやっぱり対策というのをもとるべきではないかなと。下北地域広域行政事務組合の議事録読むと、いろいろアックス・グリーンは高い焼却料、1人当たり1万円年間負担しているような、何かそういう議事録の内容を読みますと、これから市長自身の、アックス・グリーン、今のガス化溶解炉ですか、これ自体の見直しというのが根本的に必要なというふうに思いますので、LPGに頼らなくても燃やせるような焼却炉というのもしっかり視野に入れなくてはいけないのかなと思うのですが、そこのところの考え方も含めてちよつとお聞きしたいなというふうに思います。

○議長（富岡幸夫） 報告についての質疑でございますので、お答えには限界があると思いますが、市長。

○市長（宮下順一郎） あくまでもこれ災害対応というふうなことで先ほどお話をしましたように、ご理解を賜りたいというふうなことでございます。基本線は、そうでございます。

LPGが入ってこないからということで、欠陥であるというふうな決めつけ、すり込みというふうな、私はこれいかなものかと、こういうふうに思います。あの事態でございます。物流がとまりました。電気すらとまったわけでございます。そういうふうな意味での災害時の対応、これはやはり行政としてはその時々、状況を見て構成市町村と協議をした中での判断でございます。

以上でございます。

○議長（富岡幸夫） ほかに。6番澤藤一雄議員。

○6番（澤藤一雄） 市長の強いリーダーシップで大畑診療所が指定管理制度に移行しまして、医療が確保されているということにつきましては、まこと

にありがとうございますと申し上げたいと思います。

さて、今のこの診療所が週1回の整形外科、そして内科のうち金曜日に患者さんが集中すると、この2日間集中するというような現象が起きておりまして、早い方は5時前から診療所の前に待機しているということで、そして6時にはドアを開けていただいています。そして、7時から受け付けを開始するというようなことになっておりますけれども、患者が多くなりまして、そして高齢者が多いというようなこともありまして、順番をめぐってトラブルが発生しているというような状況にあります。こういう状況を市長は把握されておいででしょうか、お尋ねします。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） 大畑診療所、ただいまご評価をいただきました。そういう意味からしますと、医療法人のほうで診療所を運営しているというふうなことには、この場をおかりして感謝を申し上げたいし、地域の医療を守らなければいけないというふうな思いで指定管理制度をとらせていただき、ご理解をいただき、今進んでいるところであります。

この週1回の整形外科というふうなことは、ちょっと最近の患者さんの人数は把握しておりませんが、週1回、1日百五、六十名というふうな患者さんの数を聞いております。これはむつ総合病院のほうから派遣して、たしかそうだと思いますけれども、そういうふうな形で派遣をして診療に当たっているという状況であります。その中では、やはり医師不足というふうなこと、それはご理解はいただけるものと、このように思っています。澤藤議員、根底にはやはり週2回とか週3回というふうな形の腹づもりでのご意見だと思いますけれども、なかなかむつ総合病院自体が整形外科のお医者さん、ドクターが非常に苦しい状況であります。また、余りにも負担をかけますと、またドクター不足につながってくるというふうなことで、その部分でご理解はいただけるものと、このように思います。

今初めてその部分でお話を、その朝の状態、受け付けの状態、そして診療開始の時間、そういうふうなものを聞きましたので、この部分におきましては、その指定管理をしております医療法人から情報をいただき、また下北医療センターのほうでどういうふうな対応ができるのかというふうなことは十分調査をさせていただきたいと、このように思います。

○議長（富岡幸夫） 6番。

○6番（澤藤一雄） 医師不足というふうな部分については、いたし方ないのかなというふうな思いもあります。

1つは、どうして受け付けの混乱を防止するかというふうな手段の問題だ

と思うのです。できれば下北医療センターとして指定管理者と整理券の発行というふうな方法も含めて、ぜひ協議を願いたいと思いますので、答弁願います。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） かつてむつ総合病院も私議員のころ、この全員協議会の中で杉山前市長に対して、私ではございませんけれども、ある議員の方から受け付け、この部分のトラブル、そして前日から受付機にさまざまな不具合を置いたり、雑誌を置いたりして、そういうふうな要するに順番をめぐっての争奪戦と申しますか、そういうふうなことが話題になった記憶がございます。この部分で指定管理の、医療法人と十分協議をして、スムーズな形で受け付けができるかどうか、そういうふうな流れを協議はしていきたいと、このように思っています。

ただまた、受付機を入れるというふうなことも、これは下北医療センターのほうでの判断になろうかと思えます。その部分では下北医療センターのほうでの費用負担増というふうなことになるわけがございますので、この部分をしんしゃくしながら、またご意見はご意見としてしっかりと頭に入れながら、下北医療センターのほうと協議をさせていただきたいと、このように思っています。

○議長（富岡幸夫） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で各一部事務組合の現況と経過報告を終わります。

お諮りいたします。本日の全員協議会は、これで閉会したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） ご異議なしと認めます。

よって、本日の全員協議会はこれで閉会いたします。

午前 11 時 57 分 閉会